

前橋市健康増進計画

健康まえばし21 (第2次計画)

後期計画 [2019年度～2023年度]

健康まえばし21 (第2次計画)は、市民一人一人の主体的な健康づくりを推進するための計画です。「妊娠期・乳幼児期・学齢期」、「青年期」、「壮年期」、「高齢期」と生涯を4つのライフステージに分け、市民の皆様に取り組んでいただきたい健康づくりの7分野(栄養・食生活、運動、休養・こころの健康、たばこ、アルコール、歯と口の健康、健康診査)ごとに年代別目標、具体的な取組を設けています。計画の基本理念である「地域ぐるみ みんなでとりくむ 健康づくり」を実践し、市民みんなで「健康寿命の延伸」を目指しましょう。



計画の全体像

健康
目標

健康寿命の延伸と健康格差の縮小

生活習慣病の予防・重症化予防



年代別
目標

妊娠期
乳幼児期
学齢期

親子で規則正しい生活をする

青年期

自ら健康的な生活をする

壮年期

将来に向けて、健康的な生活習慣を維持する

高齢期

住み慣れた地域で、いつまでも自立して生活する



分野別
目標

栄養・
食生活

運動

休養・
こころの
健康

たばこ

アルコール

歯と口の
健康

健康診査

基本
理念

地域ぐるみ みんなでとりくむ 健康づくり

前橋市

はじめに

「地域ぐるみ みんなでとりくむ 健康づくり」

本市は、平成16(2004)年度に前橋市健康増進計画「健康まえばし21(第1次計画)」を、平成26(2014)年度に「健康まえばし21(第2次計画)」を策定し、市民の皆様の健康寿命の延伸を目指し、各種事業に取り組んできました。

この間、急激な少子高齢化の進行など、健康や地域保健をめぐる状況は大きく変化し、医療・介護へのニーズはますます増大してきています。世界中のどの国も経験していない少子高齢社会において、自立して生活できる期間、いわゆる「健康寿命」の延伸は、とても重要な課題です。

これらを踏まえ、「健康まえばし21(第2次計画)」の中間評価の年となる本年度、現行計画の基本理念や基本方針を継承しながら、平成31(2019)年度から平成35(2023)年度を計画期間とする「健康まえばし21(第2次計画)後期計画」を策定しました。この後期計画においては、市民の皆様に、主体的に健康づくりに取り組んでいただけるよう、具体的な取組や目標値を新たに設定させていただきました。

社会情勢が刻々と変化し、人々の価値観は実に多様化していますが、「健康」の価値は、全ての人にとって普遍です。あなたの健康は、あなた自身、あなたの周囲の人たち、そして本市の切なる願いです。

本市としましては、今後もさまざまな健康データの分析を進めるとともに、そこから得られる成果や課題を、市民の皆様、関係機関や関係団体、行政が共有できるよう、積極的に発信してまいります。健康寿命の延伸のため、「地域ぐるみ みんなでとりくむ 健康づくり」を市全体で実践しましょう。

結びに、本計画の策定に当たり、熱心にご審議いただきました前橋市健康づくり推進協議会の委員の皆様、並びに貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様に、深く感謝申し上げます、あいさつとさせていただきます。

平成31(2019)年4月

前橋市長

山本龍



目次

第Ⅰ章 健康まえばし21とは 1

- 1 計画の趣旨と見直しの背景
- 2 計画の位置づけと計画期間
- 3 後期計画の策定方針

第Ⅱ章 前橋市民の健康水準 7

- 1 人口動向
- 2 人口動態
- 3 主要死因別死亡者数の動向
- 4 国保特定健康診査結果による疾病者数
- 5 医療費の動向
- 6 要介護認定者の推移
- 7 地区別市民の健康状況

第Ⅲ章 中間評価結果と今後の課題 17

- 1 中間評価の方法
- 2 中間評価の結果
- 3 年代別目標の達成状況と課題
- 4 分野別目標の達成状況と課題

第Ⅳ章 新たな健康目標・具体的な取組 33

- 1 計画の全体像
- 2 新たな健康目標・具体的な取組のポイント
- 3 目標・具体的な取組・評価指標の一覧

第Ⅴ章 健康まえばし21（第2次計画）後期計画の推進 57

- 1 体制図
- 2 関連事業

資料編 61

- 1 健康まえばし21（第2次計画）後期計画の作成過程
- 2 前橋市健康づくり推進協議会設置要綱
- 3 前橋市健康づくり庁内推進会議設置要綱
- 4 前橋市健康づくり推進協議会委員名簿
- 5 前橋市健康づくり庁内推進会議委員名簿